

Interim Business Report

33rd

Mac-House

第33期 中間報告書 2022年3月1日～2022年8月31日

株式会社 マックハウス

STANDARD
TOKYO

証券コード：7603

株主の皆様へ

暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて
地域社会に貢献し、
信頼されるお店を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第33期第2四半期累計期間(2022年3月1日~2022年8月31日)における事業のご報告をするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。



代表取締役社長 坂下 和志

上半期は、行動制限が緩和され外出機会が増加したことで、前年の売上実績は僅かに上回りました。しかしながら、販売方法の見直しによるプロバ販売促進などの対応を図ったものの、原材料費や輸送コストの高騰などが粗利率に影響し、利益面ではほぼ前年同水準となりました。

下半期におきましても、食品やエネルギーなど物価上昇により消費者の節約志向が高まり、衣料品に対する消費支出の減少が懸念されますが、季節の必需品となる機能性を高めたアイテムをプライベートブランドでお手頃価格にて提供し、また、一部の店舗にて、OMO推進の一環としてオンラインストアでお買い上げいただいた商品の店舗受け取りの運用開始を予定するなど、お買い物の利便性を一層高め、全社一丸となり早期黒字化に向け邁進してまいります。

■上半期概況と今後の取り組み

営業面では、店舗DX化の一環として動画を活用し、スタッフの接客応対スキルの向上、及び店舗マネジメントの効率化に努めました。またSNSでの情報発信を強化し、集客に努めました。

商品面においては、着用頻度の高い普段着に、冷感や消臭、抗菌などそれぞれの商品に適した機能をプラスした「SA・RA・RI」シリーズを重点販売いたしました。また親会社である株式会社チヨダにてお客様より高い支持を得ているブランド「CEDAR CREST」のカジュアルウェアとして、機能性素材を使用した新商品を販売し、認知度向上と売上拡大を目的とした「CEDAR CRESTプレゼントキャンペーン」を株式会社チヨダと合同にて実施いたしました。店舗開発においては、当社初となる韓国ファッション、メイク、グルメの3つのテーマで厳選した商品を販売する「フフフハウス」をポップアップショップとしてオープンし、基幹業態となるマックハウスに加え、多様な商業施設環境・坪数に対応可能な業態開発を進めております。

今後につきましても、お客様の暮らしに役立つ新商品の開発、お買い物の利便性やご満足いただけるサービスの向上に向けて不断の努力を重ねてまいります。

なお、配当につきましては、遺憾ではありますが、第2四半期末、期末ともに無配とさせていただきますことを公表しております。

引き続き当社は、株主の皆様、従業員、お取引先様等、すべてのステークホルダーのご満足を追求してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

中間期業績ハイライト

売上高 **8,982**百万円

昨年に対し行動制限もなく、既存店売上高前年同期比は4.6%増となりました。また期末の店舗数が前年同期比9店舗増となり、全店売上高前年同期比は2.2%増となりました。



売上総利益 **4,365**百万円

原材料費の高騰などにより原価率が上昇し、売上総利益率が前年同期比0.9pt減となり、売上高増により売上総利益は前年同期比0.4%増となりました。

経常利益 **277**百万円

販売費は増加したものの、一般管理費のコントロール、及び売上高増により、前年同期比で赤字幅が縮小しました。



中間純利益 **515**百万円

収益性が悪化している店舗について減損損失を計上いたしました。経常利益の改善により、前年同期比で赤字幅が縮小しました。



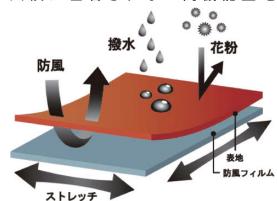
トピックス

2022年秋冬 重点販売商品「オールウェザーアウター」新発売。



ALL WEATHER-TEX

天候に左右されない高機能生地



6 FUNCTION



「冬の快適」を研究し、生まれた決定版。

NAVYオールウェザーアウターは、近年における冬の気象状況を研究し、生まれた機能アウター。まず注目したのは、風の影響による体感温度の低下。次に、生地に染み込む雨の冷たさと不快感。そして、厚手のアウターを着用することによる動きにくさ。それらを排除した決定版がNAVYのオールウェザーアウターです。

NAVY.



グルメ、コスメ、ファッションが揃う韓国専門店「フフフハウス」誕生。



「フフフ House」とは

「フフフ」は、韓国の「笑笑笑」。日本語では「フフフ」。。。韓国発トレンドコスメや、ちょっと食べてみたい話題のグルメをお手軽に。「フフフハウス」は、ファッション、メイク、グルメ、3つのテーマで商品を選ば「かわいい!おいしい!たのしい!笑顔の素がいっぱいのお店です。」



フフフハウス イオンタウン成田富里店 ミーツ国分寺店
イオンタウン田無芝久保店 阿佐ヶ谷パルセンター店 4店舗(2022年10月末現在)



食品のほか、人気のフェイスパックや有名ブランドコスメも豊富。

ソーシャルメディアを活用し、情報をお届けしています。



Twitter



Instagram



LINE



Facebook

財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2022年8月31日	前期末 2022年2月28日
資産の部		
流動資産	7,396	8,481
固定資産	3,321	3,470
有形固定資産	732	876
無形固定資産	151	129
投資その他の資産	2,437	2,464
資産合計	10,717	11,952
負債の部		
流動負債	3,783	4,480
固定負債	2,534	2,553
負債合計	6,317	7,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	1,617
資本剰余金	4,899	5,299
利益剰余金	△519	△1,917
自己株式	△80	△88
株主資本合計	4,399	4,910
新株予約権	—	7
純資産合計	4,399	4,917
負債・純資産合計	10,717	11,952

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 自2022年3月1日 至2022年8月31日	前第2四半期(累計) 自2021年3月1日 至2021年8月31日
売上高	8,982	8,788
売上原価	4,617	4,439
売上総利益	4,365	4,349
販売費及び一般管理費	4,700	4,843
営業損失(△)	△335	△494
営業外収益	181	177
営業外費用	123	134
経常損失(△)	△277	△451
特別損失	171	73
税引前四半期純損失(△)	△448	△524
法人税、住民税及び事業税	69	74
法人税等調整額	△2	△1
四半期純損失(△)	△515	△597

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要／配当の状況

会社概要

(2022年8月31日現在)

商号	株式会社マックハウス(英訳名:MAC HOUSE CO.,LTD.)	
本社	東京都杉並区梅里一丁目7番7号 新高円寺ツインビル	
設立	1990年6月1日	
資本金	100,000,000円	
従業員数	279名	
主要な事業内容	当社は衣料品の小売りを主たる目的としたチェーンストアとして全国的に店舗を展開しております。	

役員

(2022年8月31日現在)

取締役社長(代表取締役)	坂下 和志	取締役	安立 邦広
取締役会長	舟橋 浩司	常勤監査役	田村 守
取締役	佐滝 実	監査役	内田 善昭
取締役	山田 敏章	監査役	小林 茂
取締役	河西 健太郎		

*取締役のうち、山田 敏章、河西 健太郎は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*監査役のうち、田村 守、内田 善昭、小林 茂は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

配当の状況

	第31期(2021年2月期)	第32期(2022年2月期)	第33期(2023年2月期)
第2四半期末	—	—	—
期末	—	—	— 予想
年間	—	—	— 予想

地区別店舗分布

2022年8月31日現在
全332店舗北海道地区
18店舗東北地区
41店舗中部地区
53店舗関東地区
77店舗中国地区
20店舗近畿地区
56店舗九州地区
54店舗四国地区
13店舗

当社オンラインストアのご案内

<https://www.mac-house.co.jp>

株主メモ

- 事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会 毎年5月
- 基準日 毎年2月末日(その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
- (配当金受領株主確定日) 期末配当金 毎年2月末日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
- 同事務取扱場所 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (同送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-232-711(通話料無料)
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL <https://www.mac-house.co.jp>

株式会社 マックハウス

〒166-0011 東京都杉並区梅里一丁目7番7号 新高円寺ツインビル
電話：03-3316-1911(代)

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。

電子提供制度とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主様に対して株主総会資料を提供できる制度です。

この制度においては、インターネットの利用が困難であるなどの株主様の事情に配慮して、「書面交付請求」の手続きも設けられています。

ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、当面は「書面交付請求」の有無にかかわらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を書面でお届けする方針です。今後、このような対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付請求を行う際には、事前に株主様へお知らせいたします。

電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505
9:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

